

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	市長公室		
	課名	市民活動支援センター		
	係名	協働推進係		
	記入者		電話(内線)	641

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称		施設運営管理経費(コミュニティセンター)				(3) 事業の 優先度		A		
(4) 総合計画での位置づけ						(6) 事業主体		市					
① 事業の区分		主要事業				(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)					
② 施策コード		51302		(総合計画掲載ページ 132 ページ)			会計区分	一般会計					
基本目標(政策)		5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)					財源区分	市単独					
基本施策		5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり(市民参加・広聴広報・コミュニティ・ボランティア)					予算科目	款 2		項 1		目 10	
施策		③コミュニティの活性化					予算書上の	施設運営管理経費					
施策内容		2コミュニティセンターの運営					事業名称	(予算書 46 ページに掲載)					
(5) 事業期間		開始		昭和	62	年	4	月から		(8) 事務分類		自治事務	
		終了				年	月まで (		力年)		根拠法令		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象（だれに対して・何に対して行うのか）	(3) めざす姿（意図・どのような状態になるのか）
市民	・市民（地域）のコミュニティ活動や交流の場とし、相互の親睦と融和を図る。 ・地域社会の生活や文化活動の充実と住民福祉の向上を図る。
(2) 手段（事業内容・どのようなことを行うのか）	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など （※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし）
小田林・城南・南部中央コミュニティセンターの運営管理	市民のコミュニティの場及び相互の親睦や融和の促進を図る目的で、事業を実施。他市でも、事業を行っているところは多くある。
(5) 事業をとりまく環境の変化（社会環境、市民ニーズ等）や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
コミュニティの場として、必要性は高まっている。 南部中央コミュニティセンターの網戸設置や小田林コミュニティセンター駐車場の舗装工事、その他建物や設備の修繕、消耗品の購入など各コミュニティセンターの状況に応じ対応した。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		31 年度	
（１）事務事業費	事業費	需用費		1,425		1,848					
		役務費		114		120					
		委託料		790		791					
		使用料及び賃借料		44		44					
		工事請負費		3,759		440					
		備品購入費		200							
		負担金補助及び交付金		20		20					
		合計		6,352		3,263					
財源	国庫支出金	(千円)									
	県支出金	(千円)									
	地方債	(千円)									
	その他特定財源	(千円)		794		794					
	一般財源	(千円)		5,558		2,469					
	合計	(千円)		6,352		3,263					
	補助・起債制度名										

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称				単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	利用件数	目標値	件		2,010	2,020	2,030	2,050	
		実績(見込)値		2,008	2,010				
	利用料	目標値	円		800,000	800,000	800,000	800,000	
		実績(見込)値		794,930	800,000				
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	利用件数	目標値	件		2,010	2,020	2,030	2,050	
		実績(見込)値		2,008	2,010	2,020	2,030	2,050	
		達成率		98.0 %	98.0 %				
		目標値							
		実績(見込)値							
		達成率		%	%				
5. 事業評価									
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。									
各コミュニティセンターの定期的な設備点検や清掃など維持管理に取り組み、修繕箇所の減少や早期修繕により、諸経費の抑制に努めた。また、各コミュニティセンターに電気の消し忘れ防止の貼り紙をするなど、光熱水費などの無駄遣いがないよう周知、指導した。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	地域のコミュニティの場としての必要性は高い。					
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	運営管理を行う実施主体は市であるが、より地域の実情に応じた運営をするために、地域の施設運営委員会に委託し管理している。					
	手段の妥当性	A	妥当である	施行規則に準じて、適切に運営されている。					
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	各コミュニティセンターとも、利用者に口頭もしくは貼り紙などで周知や指導をしているが、電気の消し忘れなどが時々ある。					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	地元の方や市民の方、市外の方など幅広く利用されている。					
有効性	成果の向上	A	上がっている	地域コミュニティの拠点として、幅広く利用されている。					
進捗度	事業の進捗	A	順調である	地域コミュニティの場として定着してきており、利用者も年々増加している。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。									
利用者も増加しており、地域コミュニティの場として定着してきている。 その中で、様々な方が利用するにあたり、活動後に清掃されていないことや電気、換気扇、エアコンの消し忘れなど、利用後の管理が徹底されていない状況が見受けられる。また、施設や設備の老朽化により、定期点検や定期清掃をしているものの、不具合が生じ、都度修繕している状況である。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？									
引き続き、利用者へ口頭や貼り紙などで周知及び指導を行い利用後の管理を徹底していく。また、定期点検や定期清掃、早期修繕等を引き続き行い、修繕費及びその他経費の削減に取り組む。 施設や利用状況などについて、施設運営委員会と連絡を取り合い、迅速な管理、実情に合った運営などできるよう取り組んでいく。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		現状のまま継続 (改善・改革なし)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		現状のまま継続 (改善・改革なし)			老朽化の進んでいる施設もあることから、地元管理協議会と協議するほか、現地の確認を行いながら修繕箇所を特定し、計画的な修繕を行う。				
(3) 最終評価 企画調整会議において 評価を行う					上記評価のとおり。				